

7月14日オープンキャンパス 本日の模擬授業

	H・J棟		その他教室	
	4階 J401教室	4階 H404教室		
11:15 ～ 12:00	経営学科	人間科学科		
	グローバル・ビジネスの実態 ～世界的な企業は本当に「グローバル、なのか?～」 平井 宏典 先生	睡眠と健康 野中 浩一 先生		
12:15 ～ 13:00	総合文化学科	心理教育学科 子ども教育専修		
現代文化と人間性の現在 浅見 克彦 先生	パンづくりを通じた学習活動 ～総合学習をどうデザインするか～ 大西 公恵 先生			
現代のSF小説では、人間性のあり方が徐々に、または大幅に変化してゆく事態が描き出されている。もちろん、人間の精神や身体のあるり方を容れさせるのは、様々な画期的テクノロジーとその普及である場合がほとんどだ。しかし、SFはしょせん仮想世界の話で、と違ってやり過ぎるのは早計だろう。実はそこには、私たちが逃れることのできないリアルな問題がある。	算数や国語といった教科学習ではなく、教科の枠を超えた総合的なテーマを設定して、遊んだり活動しながら学んでいく教育方法が注目されています。幼稚園や小学校で行われているパンづくりの授業実践の事例を通して、経験を通じた学びのプロセスや意義、総合学習のデザインについて考えてみましょう。			
13:15 ～ 14:00	心理教育学科 心理学専修	現代社会学科		芸術学科 アトリエ D棟3階307教室
	司法犯罪心理学入門 熊上 崇 先生	オリンピックの社会学 中力 えり 先生		コラージュによるワークショップ ～ことばのイメージを色や形にする～ 畑中 朋子 先生
	司法犯罪心理学とは、刑事ドラマのような犯人の心理を探るものではありません。犯罪行為の背景には、たとえば貧困問題や、社会的なサポートの不足があります。事例を通じて、その背景を探り、どのように支援していくか議論します。	2020年夏、東京でオリンピック競技大会の開催が予定されています。さまざまなところで話題にのぼることも多くなりましたが、そのオリンピックを少し別の角度からみてみると、何がみえてくるでしょうか。オリンピックの歴史を振り返りながら、社会の変化についてみていくとともに、「国」や「国籍」とは何がについて考えていきます。		デザインの仕事では、伝えたい雰囲気やイメージ語(例:若々しい、ふんわりした)などの言葉で考えて、色や形のあるものに発展させていきます。この授業では一篇の詩をもとに、言葉の持つイメージをあたため、各自が感じたものや風景をコラージュ(紙の切り貼り)で自由に表現します。どなたでもご参加になれます。 ※授業時間は13:15～15:00です。
14:15 ～ 15:00	経済学科	心理教育学科 子ども教育専修 保育コース		
	「アベノミクス」とは何だったのか? 稲田 圭祐 先生	人生で手に入れたいもの 一瀬 早百合 先生		
	2013年の新語・流行語大賞トップ10にも選ばれた「アベノミクス」。2012年12月に誕生した第二次安倍内閣が進めようとした経済政策の総称です。デフレ経済の克服、景気回復を目指した「アベノミクス」ですが、第二次安倍内閣発足から6年あまりを経た現在、日本の経済社会の状況はどのように変化してでしょうか。この模擬授業では、「アベノミクス」の内容、経済社会への影響などを経済学の視点から解説することで、経済学の基本的な考え方を分かりやすく説明します。	あなたにとって大切なものは何ですか。これからの人生で獲得したいものは、『大金』、『優秀な頭脳』、『整った容姿』それとも『他者からの信頼』でしょうか。欲しいものに落札価格をつけて競り合ってみましょう。このオークションを通じて自分の価値観について理解がきっと深まるでしょう。		